

静岡県月例経済報告

(平成30年10月号)

……平成30年8月を中心とした県内経済のすがた……

No. 510

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	12
・ 雇用面	14
・ その他	17
III 静岡県主要産業の動向	21
IV データからみた県内主要産業	24

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成30年8月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

概況

平成30年8月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復している。

先行きについては、意欲的な設備投資計画などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外の政治経済情勢に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きが強まっている。
- ・ 輸出は、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 生産は、持ち直しの動きがみられる。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(8月)は、百貨店が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、スーパーが2か月ぶりに前年実績を下回った。総額では、前年同月と同水準だった。

専門量販店等販売額(8月)は、ホームセンターが2か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店、コンビニエンスストアがいずれも3か月連続、ドラッグストアが18か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも3か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(8月)は、乗用車が11か月連続で前年実績を下回ったものの、軽自動車が5か月連続で前年実績を上回ったことから、総数でも2か月連続で前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(8月)は、分譲住宅が2か月連続で前年実績を上回ったものの、持家、貸家がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(8月)は、2か月連続で前年実績を上回った。

「設備投資は、増加の動きが強まっている」

日銀短観(平成30年10月1日)の平成30年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(8月)は、2か月連続で前年実績を上回った。

「輸出は、持ち直しの動きがみられる」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（8月）は、自動車、科学光学機器がいずれも2か月連続、二輪自動車類が7か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機、エアコンがいずれも3か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。自動車の部分品は前年実績と同水準だった。

また、輸入総額（8月）は、魚介類及び同調製品、紙類及び同製品がいずれも2か月連続、木材が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、パルプが10か月連続、原動機が4か月連続、自動車の部分品が5か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも5か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、849億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しの動きがみられる」

鉱工業生産指数（7月）は、はん用・生産用・業務用機械が5か月ぶり、食料品・たばこが3か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械が3か月ぶり、輸送機械が3か月連続、化学、パルプ・紙・紙加工品がいずれも2か月ぶりに前年水準を上回ったことから、総合でも2か月ぶりに前年水準を上回った。また、2か月ぶりに前月を下回った。

なお、鉱工業在庫指数（7月）は、総合では10か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きを続けている」

有効求人倍率（8月）は1.70倍で、前月を0.03ポイント下回った。また、55か月連続で1倍を上回った。なお、18か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（8月）は、61か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（7月）は、8か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を下回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（8月）は、前年同月比 0.8%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額（8月）は、前年同月比 8.7%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産（9月）は、件数は10件（前年同月比 56.5%減）、負債総額は6億6,200万円（同 57.5%減）と、いずれも前年実績を下回った。

<トピックス> ～ため池の防災・減災～ 国研究機関との共同による先進的な取組

1 要旨

県は、ため池の決壊による被害を防ぐ・減らすために、国の研究機関（農研機構）と連携した本県独自の取組を行っています。ため池の危険な水位上昇を予測するシステムや、土石流などによる決壊を防止する施設の研究に取り組んでいます。この成果の活用と市町との連携により、防災先進県としてため池の豪雨対策を強化していきます。

2 ため池の豪雨対策強化の背景



土石流により決壊したため池
(平成30年7月豪雨)

ため池の多くは、江戸時代以前に築造されたもので、先人が維持修繕し、代々受け継がれてきたものです。

しかし、近年、多発する豪雨により土砂災害が増加傾向にあり、他県でため池が決壊し人命を失うといった災害が発生しています。

3 これまでの取組

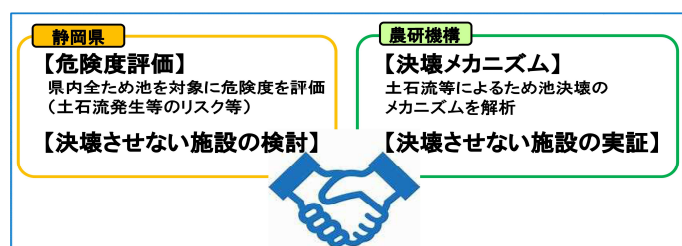
農研機構が開発したため池貯水位予測システムを、牧之原市のため池をフィールドとして、共同で検証。雨量計、水位計を設置し、実測データから、流域の貯留特性・ため池の水利特性等が明らかになりました。

○ため池貯水位予測システム：予想降雨によるため池の水位上昇を事前に予測

早期の避難や、決壊防止を目的とした事前放流に活用が可能

4 農研機構との共同研究（技術的知見×現場実証実験）…（平成30年度）

土石流等に起因するため池決壊の被害をなくすため、農研機構から決壊のメカニズムに関する知見の提供を受け、県は、全ため池を対象に土石流リスクの検証を行います。また、県は決壊を防止する施設を検討し、農研機構はそれを模型実験で検証するという取組を予定しています。



新たな豪雨対策

豪雨対策が必要となるため池を選定し施設整備を実施

5 今後の取組「ため池の防災力を強化し、決壊による被害をゼロに！」

県は、農研機構との取組成果を踏まえ、新たに対策が必要なため池を選定し、管理者である市町とハード・ソフトの豪雨対策を推進していきます。

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

8 月 = 33,855百万円

*前年同月比： 同水準

(県内3百貨店、134スーパー合計)

<概況>

8月の大型小売店販売額は33,855百万円で、前年同月と同水準だった。
業態別にみると、百貨店（前年同月比 1.9%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、スーパー（同 0.4%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。
商品別では、飲食料品（前年同月比 0.7%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 1.5%減）、身の回り品（同 0.2%減）がいずれも2か月連続、家庭用品（同 6.6%減）が11か月連続で前年実績を下回った。
なお、店舗数調整前の前年同月比は0.4%減と、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
販売額(百万円)	36,380	30,823	33,271	32,240	32,970	33,375	35,213	33,855
前年同月比(%)	▲0.9	▲0.4	▲2.8	▲2.8	▲3.6	▲0.1	▲1.1	0.0
うち百貨店(%)	▲2.4	▲1.7	▲2.5	▲2.7	▲6.0	2.1	▲7.5	1.9
スーパー(%)	▲0.6	0.0	▲2.9	▲2.9	▲3.0	▲0.6	0.6	▲0.4
(参考1)全国前年同月比(%)	0.4	0.6	0.1	▲0.8	▲2.0	1.5	▲1.6	▲0.1
うち百貨店(%)	▲0.1	0.3	0.9	1.5	▲1.2	4.0	▲5.1	0.6
スーパー(%)	0.7	0.7	▲0.4	▲1.8	▲2.4	0.3	0.3	▲0.4
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	0.1	0.8	▲1.5	▲2.4	▲3.1	0.3	▲1.9	▲0.4

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
衣料品	▲5.0	▲0.8	▲1.3	▲2.8	▲6.3	0.4	▲7.8	▲1.5
うち紳士服・洋品	▲2.7	▲3.5	▲5.0	▲0.3	▲10.3	▲2.3	▲6.0	▲3.2
婦人・子供服・洋品	▲6.1	0.9	1.0	▲3.4	▲4.7	2.3	▲8.1	▲1.8
身の回り品	▲1.6	2.0	▲3.8	▲7.4	▲2.6	1.4	▲6.9	▲0.2
飲食料品	▲0.2	▲0.3	▲2.2	▲2.7	▲2.9	0.0	1.0	0.7
家庭用品	▲1.9	▲2.8	▲4.1	▲5.4	▲1.7	▲6.1	▲8.5	▲6.6
うち家庭用電気機械器具	▲10.1	▲6.9	3.5	1.7	9.0	17.5	6.7	▲1.4

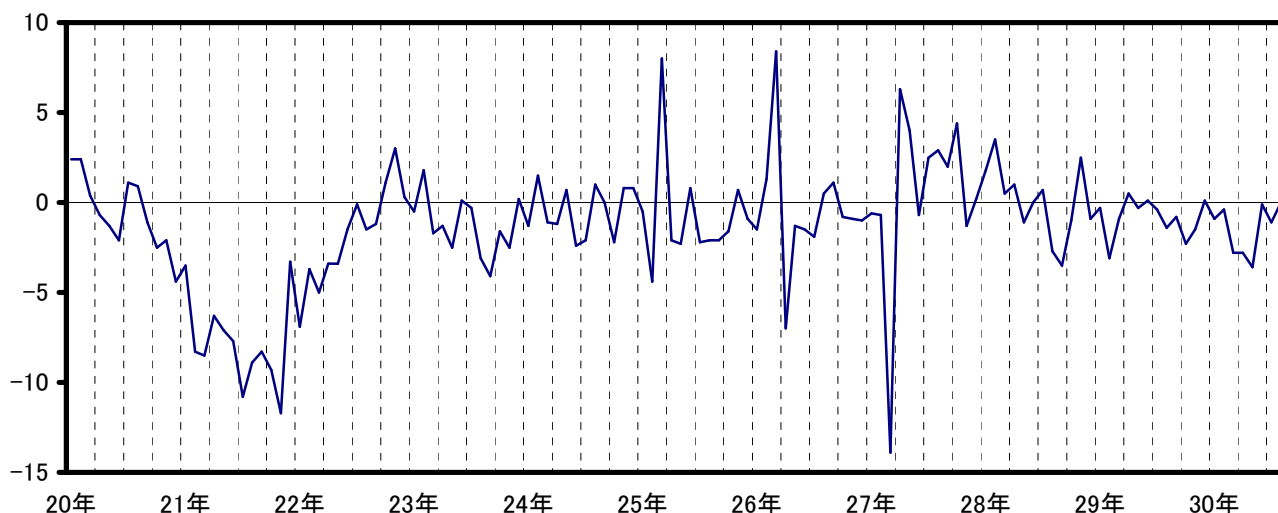
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

8月 = 72,295百万円

*前年同月比： 1.9%増

(県内94家電大型専門店、1,701コンビニエンスストア、480ドラッグストア、103ホームセンター合計)

<概況>

8月の専門量販店等販売額は72,295百万円で、前年同月比 1.9%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、ホームセンター（前年同月比 1.0%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 2.7%増）、コンビニエンスストア（同 1.0%増）がいずれも3か月連続、ドラッグストア（同 4.3%増）が18か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
販売額(百万円)	64,875	58,880	68,567	66,761	67,364	66,876	76,985	72,295
前年同月比(%)	2.4	2.3	1.8	3.0	▲0.8	3.1	2.7	1.9
うち 家電大型専門店(%)	5.0	4.7	▲0.2	2.3	▲0.6	9.8	4.1	2.7
コンビニエンスストア(%)	0.5	▲0.1	1.1	1.2	▲1.2	0.9	0.6	1.0
ドラッグストア(%)	5.9	6.1	4.3	7.4	3.1	4.9	6.9	4.3
ホームセンター(%)	▲2.2	▲0.7	0.8	▲0.2	▲7.6	0.1	▲1.0	▲1.0
(参考)全国前年同月比(%)	2.9	2.9	3.4	3.0	0.3	3.9	1.7	1.8

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

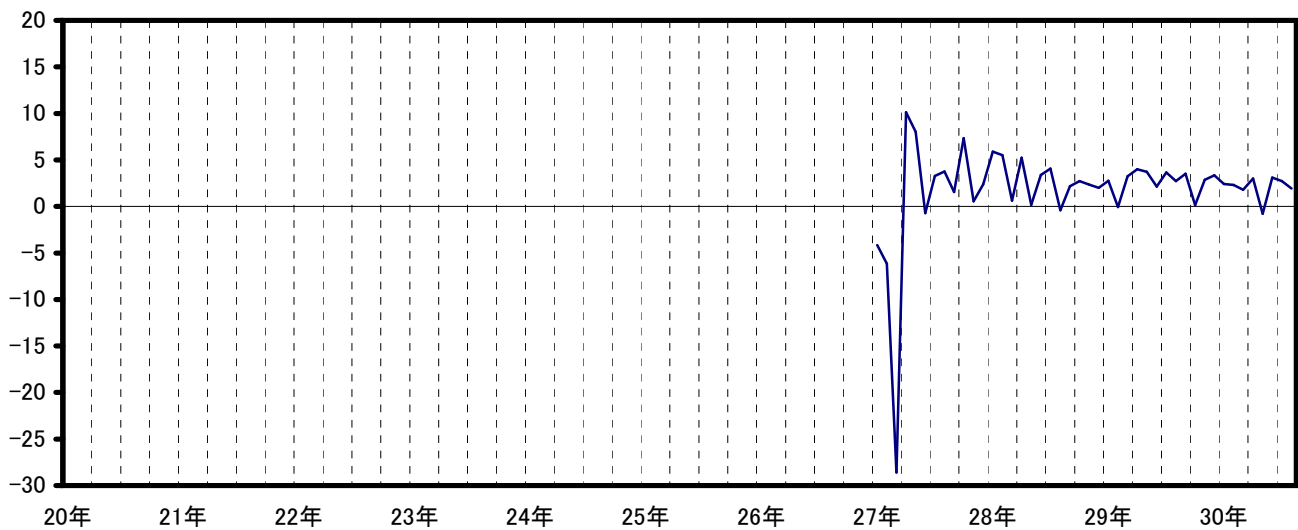
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数

8月 = 12,013 台

*前年同月比： 1.9%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

8月の自動車(新車)新規登録台数は12,013台(前年同月比 1.9%増)と、2か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 3.0%減)が11か月連続で前年実績を下回ったものの、軽自動車(同 8.7%増)が5か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
登録台数(台)	15,357	17,887	23,209	11,883	12,332	15,629	14,618	12,013
前年同月比(%)	3.0	▲0.1	▲4.9	1.0	▲0.5	▲3.0	2.4	1.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.1	▲2.8	▲3.6	2.6	▲1.5	▲5.3	3.3	4.0

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

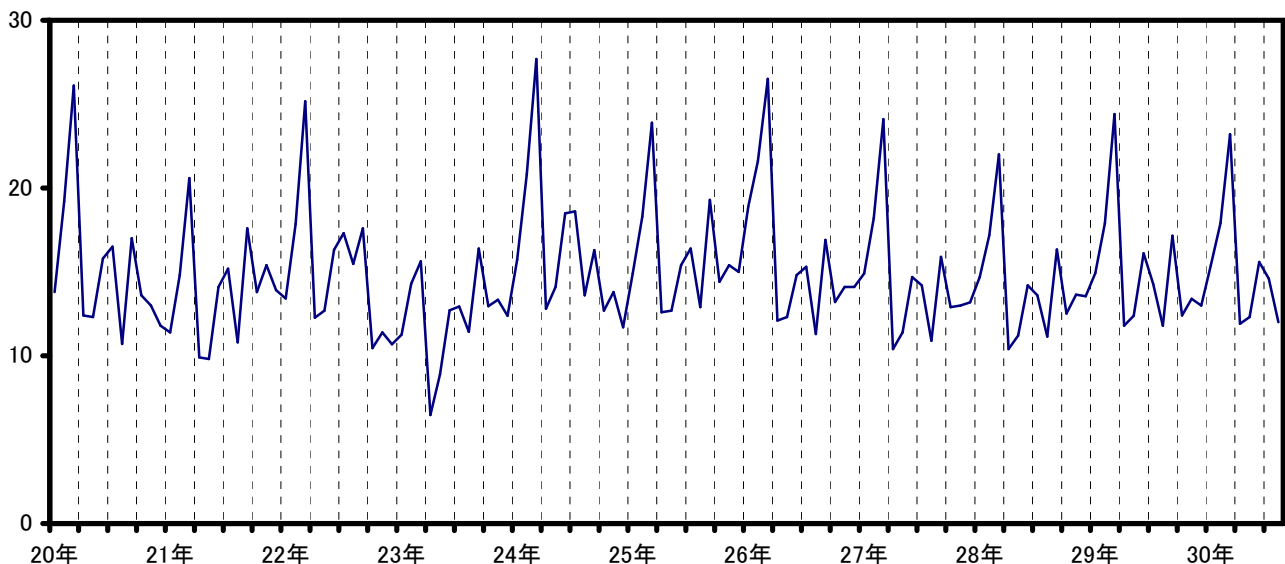
	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全乗用車	3.0	▲0.1	▲4.9	1.0	▲0.5	▲3.0	2.4	1.2
乗用車	▲6.7	▲1.5	▲7.7	▲2.7	▲1.4	▲9.0	▲0.4	▲3.0
軽自動車	16.6	1.7	▲0.9	5.6	0.8	6.2	6.0	8.7

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

8月 = 2,152 戸

*前年同月比： 9.8%減

<概況>

8月の新設住宅着工戸数は2,152戸で、前年同月比 9.8%減と、2か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 7.2%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、持家（同 1.9%減）、貸家（同 26.8%減）がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

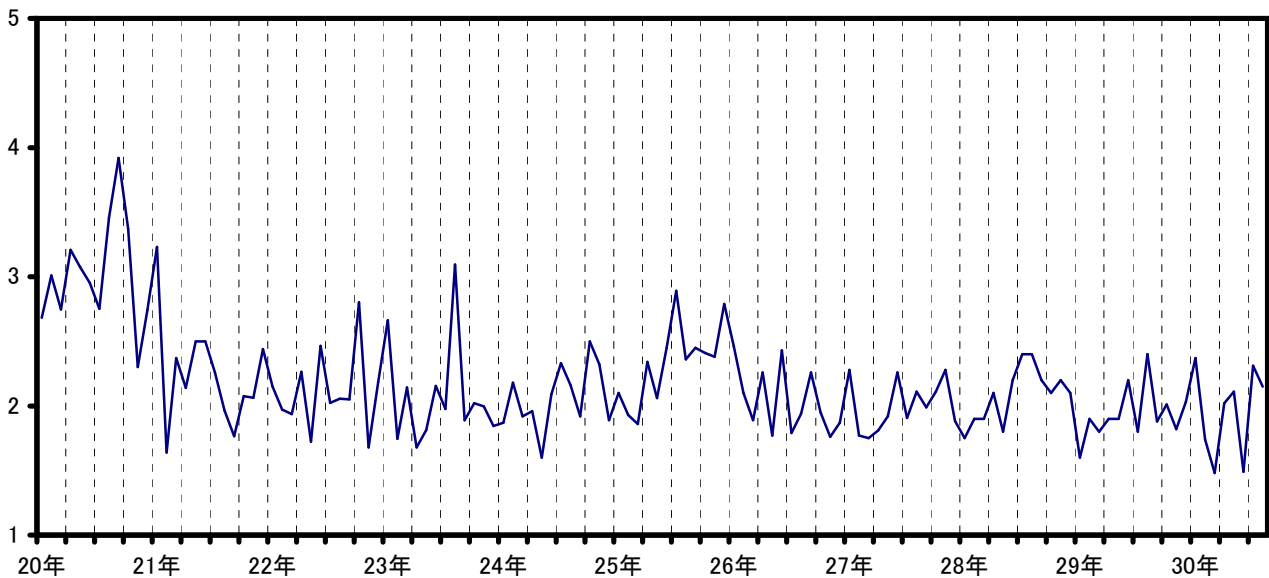
	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
戸数 (戸)	2,369	1,742	1,483	2,015	2,108	1,489	2,309	2,152
前年同月比 (%)	44.0	▲ 9.8	▲ 17.9	7.0	8.8	▲ 32.6	25.6	▲ 9.8
うち持家 (%)	21.2	▲ 24.3	▲ 3.4	5.3	4.5	▲ 25.4	4.1	▲ 1.9
貸家 (%)	34.5	▲ 7.9	▲ 22.9	8.6	9.0	▲ 46.7	70.1	▲ 26.8
分譲住宅 (%)	124.9	35.3	▲ 37.2	11.1	21.8	▲ 23.2	30.9	7.2
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 13.2	▲ 2.6	▲ 8.3	0.3	1.3	▲ 7.1	▲ 0.7	1.6

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

8 月 = 28,357百万円

*前年同月比：16.8%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

8月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は28,357百万円で、前年同月比16.8%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は857件で、前年同月比8.2%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
金額(百万円)	9,580	8,327	16,358	61,467	30,683	30,461	29,729	28,357
前年同月比(%)	▲8.4	▲33.2	1.7	11.6	53.1	▲6.8	9.9	16.8
年度累計前年同月比(%)	0.7	▲0.8	▲0.7	11.6	22.6	13.7	12.9	13.5
件数(件)	369	185	195	586	564	707	872	857
前年同月比(%)	▲15.0	▲42.4	▲17.0	18.4	20.8	▲1.9	17.0	8.2
年度累計前年同月比(%)	▲1.7	▲3.4	▲3.8	18.4	19.5	10.3	12.4	11.4

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

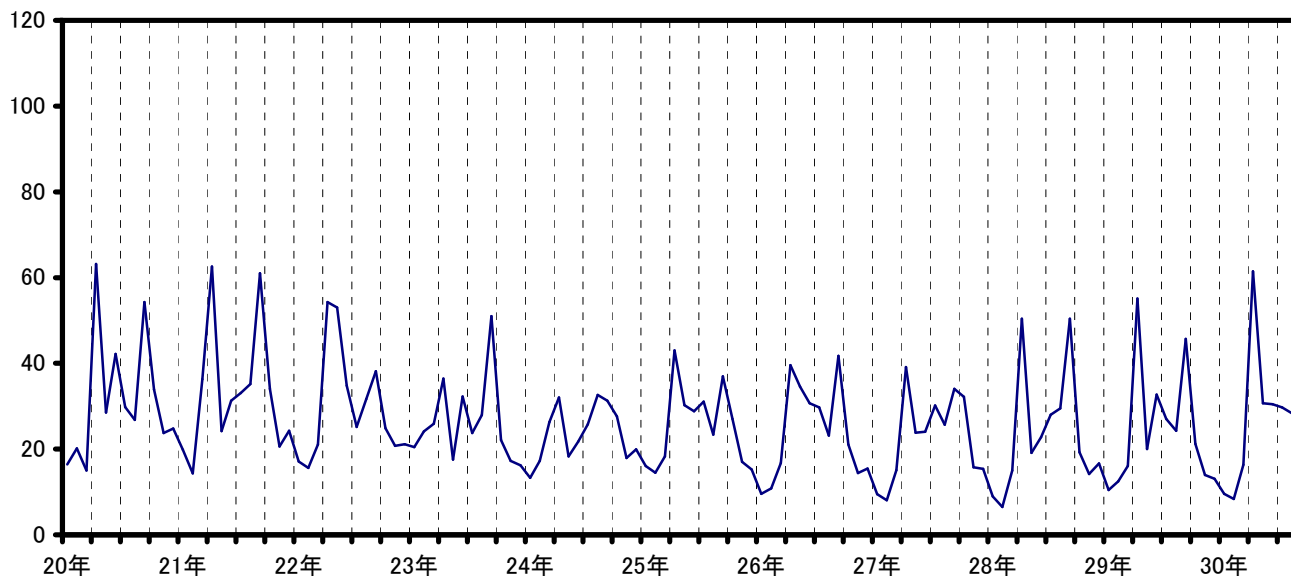
	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国	▲63.5	▲35.2	▲44.9	9.2	122.3	113.4	129.5	▲0.8
独立行政法人等	77.7	758.0	1,746.6	▲8.5	61.9	▲65.3	488.7	▲35.1
県	67.2	▲73.7	▲23.0	▲2.0	8.7	4.3	45.6	20.6
市町	▲27.7	▲29.6	54.2	70.0	13.6	▲17.3	0.2	21.1
地方公社	—	—	—	204.5	1,292.4	—	▲95.2	▲91.5
その他	▲63.2	389.1	▲96.0	▲5.1	—	2.8	▲76.8	106.3

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成29年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、いずれも製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加した。

平成30年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 13.5%増）、非製造業（同 10.6%増）、全産業（同 12.1%増）の全てにおいて増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 14.2%増）、非製造業（同 10.6%増）、全産業（同 13.2%増）の全てにおいて増加する計画となっている。

8月の着工建築物床面積（非居住用）は153,769㎡で、前年同月比 17.2%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		29年度 (実績)	30年度 (計画)
全産業	県	2.8	(5.3) 12.1
	全国	4.4	(0.6) 8.5
製造業	県	3.2	(1.1) 13.5
	全国	6.3	(0.5) 16.5
非製造業	県	2.3	(10.8) 10.6
	全国	3.4	(0.7) 4.0

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		29年度 (実績)	30年度 (計画)
全産業	県	5.3	(2.0) 13.2
	全国	4.6	(0.1) 9.2
製造業	県	6.8	(▲0.1) 14.2
	全国	4.4	(▲0.1) 10.9
非製造業	県	1.4	(8.7) 10.6
	全国	4.8	(0.2) 7.4

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成30年9月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成30年9月調査)」

<最近の動き>

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	86,688	123,341	63,422	162,014	179,797	136,094	284,663	153,769
前年同月比（%）	▲ 43.9	49.6	▲ 28.9	8.1	24.0	▲ 22.8	142.5	17.2
(参考) 全国前年同月比（%）	▲ 6.8	0.4	17.5	0.5	▲ 6.8	▲ 5.0	8.8	▲ 10.9

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		30年6月	30年9月	30年12月 (予測)
全産業	全産業	14	14	8
	製造業	15	20	12
	非製造業	13	9	6
(参考) 全国・全産業		16	15	12

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成30年9月調査)」

5 輸出

8月 = 174,218百万円

*前年同月比： 1.6%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

8月の清水税関支署管内の輸出総額は174,218百万円で、前年同月比 1.6%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、自動車（前年同月比 23.3%減）、科学光学機器（同 18.9%減）がいずれも2か月連続、二輪自動車類（同 27.8%減）が7か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 11.8%増）、エアコン（同 10.4%増）がいずれも3か月連続で前年実績を上回った。自動車の部分品は前年実績と同水準だった。

地域別にみると、EU向け（前年同月比 15.8%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 2.8%増）が6か月連続、米国向け（同 14.7%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
輸出総額(百万円)	157,324	174,327	187,025	188,363	158,117	193,158	182,834	174,218
前年同月比(%)	5.5	▲4.7	▲5.1	▲1.8	5.6	10.4	▲1.1	1.6

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
原動機	10.8	13.8	▲6.9	▲1.7	▲5.9	6.0	1.0	11.8
エアコン	▲23.7	▲21.4	18.4	21.2	▲3.6	32.1	12.6	10.4
自動車	▲1.0	▲2.1	▲54.4	14.7	192.2	8.0	▲19.3	▲23.3
自動車の部分品	▲14.2	▲14.5	▲6.2	▲9.0	0.5	11.6	7.7	0.0
二輪自動車類	6.9	▲22.9	▲21.8	▲18.6	▲37.3	▲12.6	▲20.4	▲27.8
科学光学機器	20.1	▲9.0	▲2.4	▲1.6	43.5	10.8	▲4.2	▲18.9

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
アジア	10.6	▲8.2	1.2	0.1	5.1	18.5	7.6	2.8
米国	▲1.9	▲0.1	▲2.4	▲9.0	▲7.5	9.2	▲8.2	14.7
EU	4.3	▲9.7	▲20.1	▲2.4	17.4	▲16.0	▲13.8	▲15.8

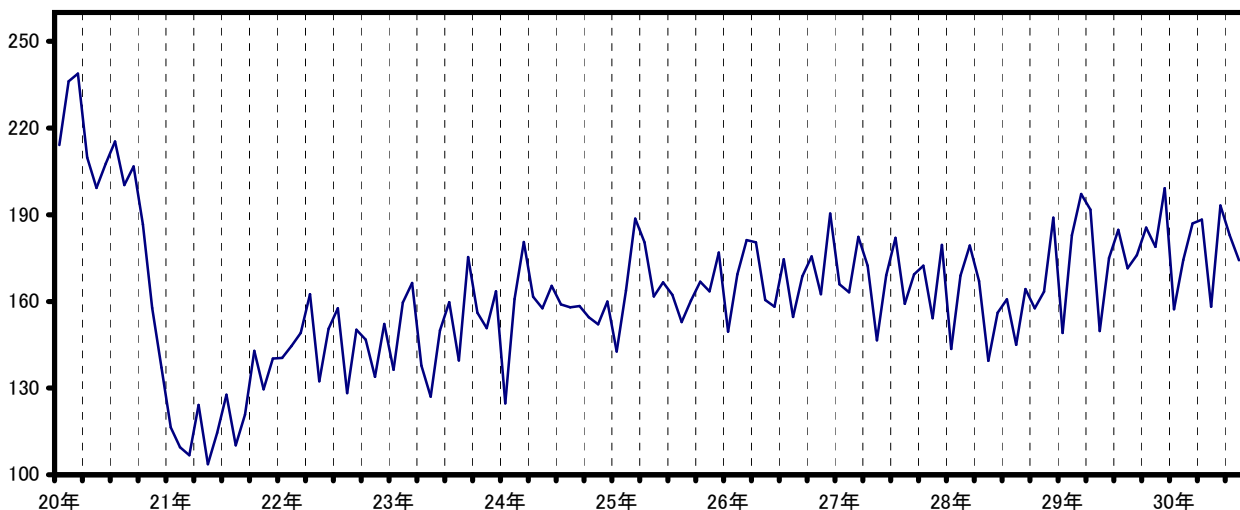
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

8 月 = 89,368百万円

*前年同月比： 4.6%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

8月の清水税関支署管内の輸入総額は89,368百万円で、前年同月比 4.6%増となり、5か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 8.4%減）、紙類及び同製品（同 19.3%減）がいずれも2か月連続、木材（同 6.0%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、パルプ（同 6.5%増）が10か月連続、原動機（同 51.7%増）が4か月連続、自動車の部分品（同 13.9%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、アジアから（前年同月比 8.7%増）が5か月連続、米国から（同 21.8%増）、EUから（同 14.2%増）がいずれも2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
輸入総額(百万円)	89,767	85,331	78,836	93,691	97,600	87,832	96,113	89,368
前年同月比(%)	6.3	18.6	▲13.0	18.9	21.5	4.9	17.0	4.6

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
魚介類及び同調製品	26.2	▲6.2	▲13.1	34.0	30.9	2.9	▲5.8	▲8.4
木材	3.8	7.9	5.5	10.7	13.5	▲1.7	23.4	▲6.0
パルプ	18.2	43.2	23.2	24.7	18.4	8.3	47.4	6.5
紙類及び同製品	2.5	4.2	▲4.1	▲2.6	44.8	35.3	▲5.4	▲19.3
原動機	▲40.2	▲67.3	▲21.4	▲27.6	109.2	8.7	3.5	51.7
自動車の部分品	1.0	27.1	▲20.7	10.0	7.9	24.6	48.9	13.9

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

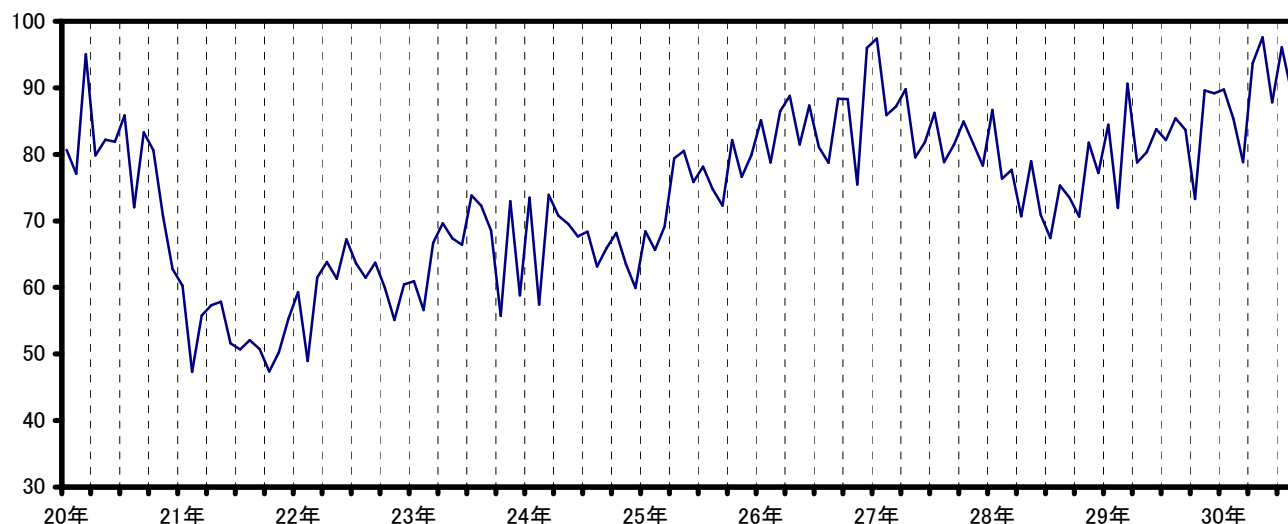
	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
アジア	0.9	21.8	▲11.8	11.2	27.6	1.9	19.9	8.7
米国	13.1	▲15.7	▲3.9	▲5.7	12.3	▲6.7	8.4	21.8
EU	42.3	▲23.6	4.9	20.0	10.1	▲1.5	3.9	14.2

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

7月 = 92.4

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.2%減

*前年同月比(原指数) : 3.0%増

<概況>

7月の鉱工業生産指数(総合)は92.4(季節調整済指数)で、前月比1.2%減と、2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は3.0%増と、2か月ぶりに前年水準を上回った。
業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比2.5%減)が5か月ぶり、食料品・たばこ(同2.7%減)が3か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同5.0%増)が3か月ぶり、輸送機械(同6.8%増)が3か月連続、化学(同4.6%増)、パルプ・紙・紙加工品(同0.3%増)がいずれも2か月ぶりに前年水準を上回った。

<最近の動き>

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
指数	95.7	90.9	93.8	96.0	94.2	92.2	93.5	92.4
前月比(%)	3.3	▲5.0	3.2	2.3	▲1.9	▲2.1	1.4	▲1.2
前年同月比(%)	3.2	▲1.1	▲2.0	▲2.1	0.6	1.4	▲0.4	3.0
(参考)全国前年同月比(%)	4.2	2.7	1.4	2.2	2.5	4.2	▲1.2	2.3

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲1.8	▲9.3	▲4.8	7.4	8.7	3.1	4.5	▲2.5
電気機械工業	▲1.4	▲3.2	1.6	3.8	1.1	▲3.1	▲7.8	5.0
輸送機械工業	6.1	▲1.6	▲8.2	▲10.3	▲4.6	0.8	3.2	6.8
化学工業	8.0	0.8	▲0.7	2.7	▲1.9	9.1	▲2.3	4.6
パルプ・紙・紙加工品工業	1.8	2.2	▲2.7	0.8	▲2.4	0.5	▲1.3	0.3
食料品・たばこ工業	0.4	▲2.1	7.2	▲2.2	10.5	▲4.2	▲0.4	▲2.7

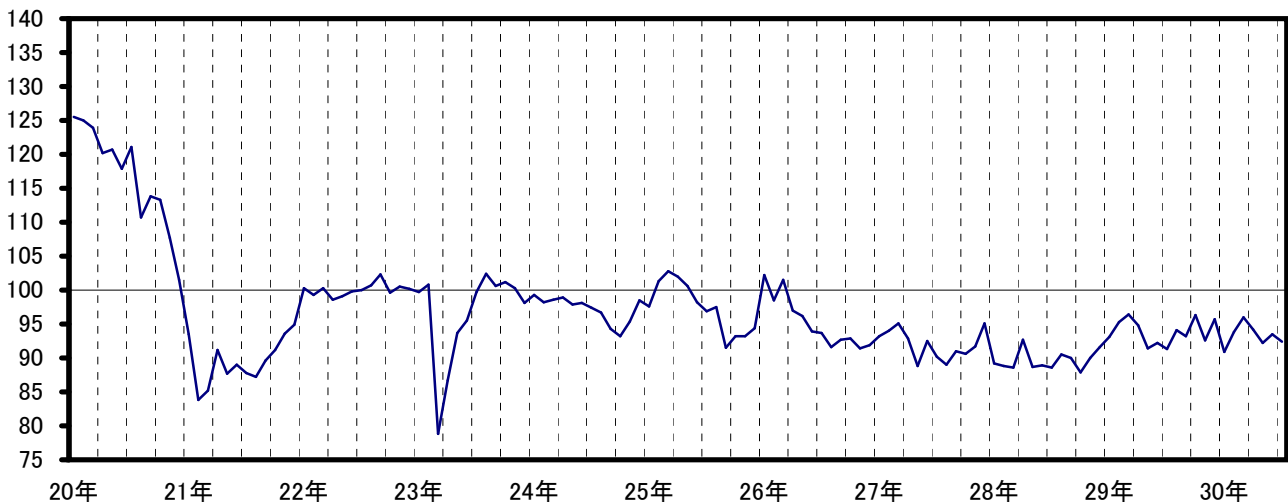
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

7月 = 122.0

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 2.8%減

*前年同月比(原指数) : 7.5%増

<概況>

7月の鋳工業在庫指数(総合)は122.0(季節調整済指数)で、前月比は2.8%減と、2か月連続で低下した。また、前年同月比(原指数)は7.5%増と、10か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫積み上がり局面(景気後退初期)」に該当する。

業種別にみると、電気機械(前年同月比10.7%減)が3か月連続、輸送機械(同18.4%減)が6か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同7.1%減)が13か月連続、食料品・たばこ(同5.8%減)が2か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同8.9%増)が7か月連続、化学(同41.7%増)が14か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
指数	115.5	117.9	125.2	127.8	125.0	125.9	125.5	122.0
前月比(%)	0.9	2.1	6.2	2.1	▲2.2	0.7	▲0.3	▲2.8
前年同月比(%)	8.9	4.8	4.9	8.1	7.1	10.2	6.1	7.5
(参考)全国前年同月比(%)	2.0	1.4	1.6	4.1	1.9	2.5	2.5	2.8

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲0.2	3.0	6.7	5.4	8.3	7.1	0.8	8.9
電気機械工業	22.1	10.6	7.9	▲3.2	4.9	▲1.4	▲14.0	▲10.7
輸送機械工業	36.6	9.2	▲5.7	▲7.8	▲13.7	▲11.6	▲26.8	▲18.4
化学工業	24.3	26.9	27.6	50.8	48.0	60.5	49.3	41.7
パルプ・紙・紙加工品工業	▲4.1	▲6.1	▲10.3	▲8.6	▲9.4	▲10.0	▲8.5	▲7.1
食料品・たばこ工業	7.7	10.1	11.8	2.8	3.0	0.4	▲7.5	▲5.8

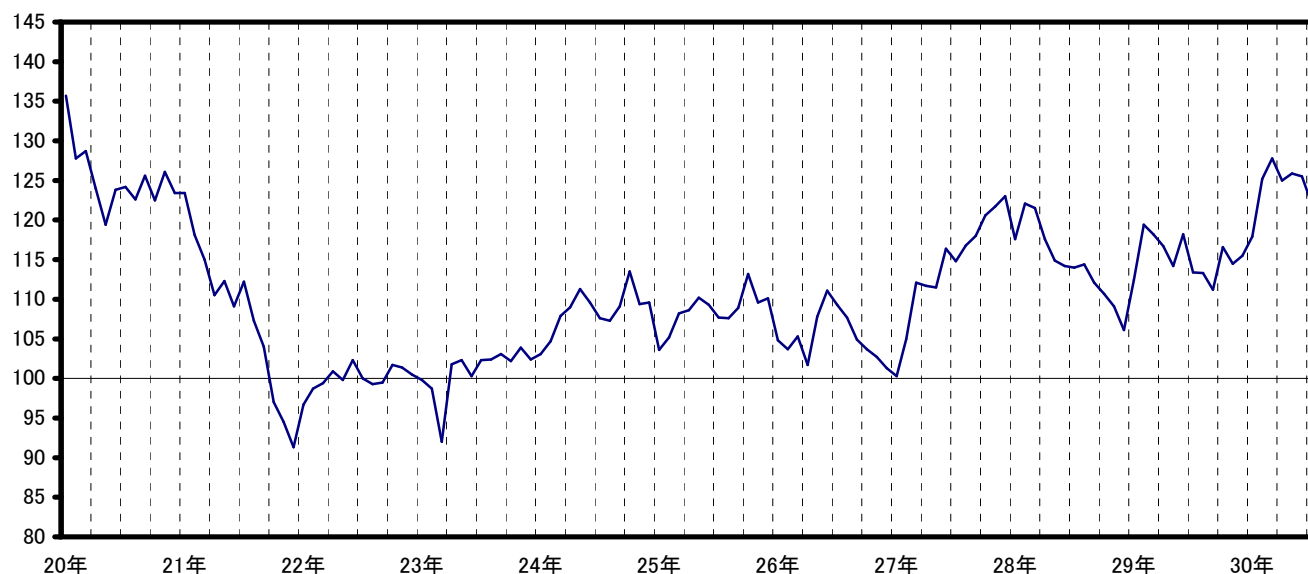
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

8 月 = 1.70倍

*前月比 (季節調整値) : 0.03ポイント減

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

8月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.70倍となり、前月を0.03ポイント下回った。また、18か月連続で全国値を上回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比4.6%増)は31か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、建設業(前年同月比1.7%減)が6か月ぶり、医療・福祉(同4.2%減)が3か月連続で前年実績を下回ったものの、製造業(同17.1%増)が34か月連続、情報通信業(同2.9%増)、卸売業・小売業(同0.9%増)がいずれも2か月ぶり、運輸業・郵便業(同10.7%増)が22か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同5.1%増)が4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
県	1.61	1.65	1.66	1.68	1.70	1.72	1.73	1.70
全 国	1.59	1.58	1.59	1.59	1.60	1.62	1.63	1.63

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
建 設 業	8.7	▲ 1.8	8.5	0.1	4.5	3.9	6.6	▲ 1.7
製 造 業	12.3	10.7	16.5	21.3	26.2	0.3	11.8	17.1
情 報 通 信 業	17.6	▲ 19.3	▲ 13.2	11.2	▲ 16.5	24.4	▲ 1.5	2.9
運 輸 業 ・ 郵 便 業	3.6	13.8	11.5	4.3	16.1	22.9	16.2	10.7
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 1.7	▲ 5.2	3.2	0.7	5.9	1.2	▲ 7.5	0.9
医 療 ・ 福 祉	5.2	8.7	5.1	3.1	4.0	▲ 3.8	▲ 3.3	▲ 4.2
サービス業(他に分類されないもの)	2.3	13.5	▲ 1.5	▲ 5.9	28.4	1.4	21.4	5.1
合 計	5.5	6.8	7.7	2.1	14.2	3.9	6.6	4.6

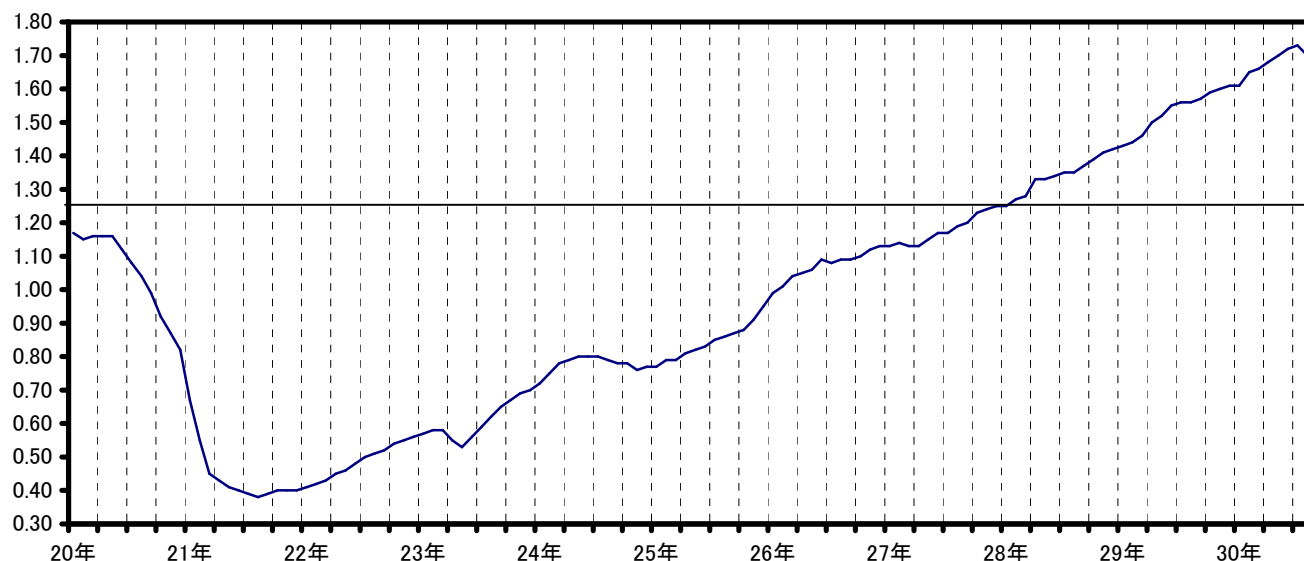
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

8月 = 11,407人

*前月比: 3.9%増

*前年同月比: 3.7%減

<概況>

8月の雇用保険受給者実人員は11,407人で、前月比は3.9%増と、2か月連続で前月を上回った。また、前年同月比は3.7%減と61か月連続で前年実績を下回った。
 完全失業率(全国)は2.4%で、前月から0.1ポイント改善した。
 静岡県(平成30年4~6月)の完全失業率は2.0%で、前期(30年1~3月)と同水準だった。

<最近の動き>

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
実人員(人)	10,153	9,629	9,460	9,236	10,839	10,513	10,974	11,407
前月比(%)	▲1.2	▲5.2	▲1.8	▲2.4	17.4	▲3.0	4.4	3.9
前年同月比(%)	▲5.3	▲5.3	▲5.7	▲3.1	▲0.5	▲4.6	▲1.1	▲3.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲4.1	▲5.4	▲6.5	▲3.5	▲0.9	▲5.2	▲0.3	▲2.3

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
完全失業率(全国)(%)	2.4	2.5	2.5	2.5	2.2	2.4	2.5	2.4

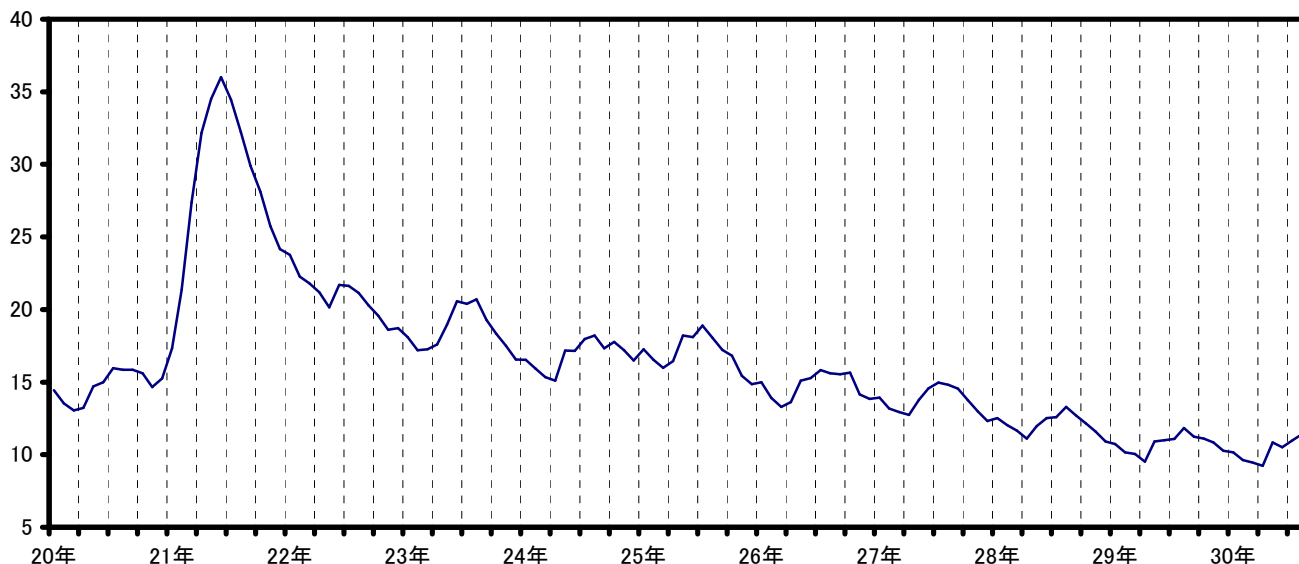
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

7月 = 97.8

*前月比(季節調整済指数): 4.2%増

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 5.5%減

<概況>

7月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は97.8(季節調整済指数)で、前月比4.2%増となった。また、前年同月比(原指数)は5.5%減と8か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、製造業(前年同月比3.2%増)が8か月ぶり、情報通信業(同75.2%増)が9か月連続、卸売業・小売業(同9.2%増)が3か月ぶり、その他のサービス業(同8.0%増)が7か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同33.8%減)が2か月連続、運輸業・郵便業(同11.0%減)が5か月連続、医療・福祉(同15.9%減)が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
指数	98.9	91.3	94.2	91.6	92.0	97.1	93.9	97.8
前月比(%)	▲7.4	▲7.7	3.2	▲2.8	0.4	5.5	▲3.3	4.2
前年同月比(%)	▲1.3	▲9.6	▲8.8	▲10.2	▲11.1	▲6.2	▲9.9	▲5.5
(参考)全国前年同月比(%)	0.6	▲2.4	▲2.3	▲1.6	▲1.5	0.8	0.8	0.0

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
建設業	▲1.6	▲16.2	▲48.4	▲51.0	▲17.2	284.8	▲44.5	▲33.8
製造業	▲1.2	▲8.9	▲8.3	▲11.4	▲6.0	▲7.9	▲0.5	3.2
情報通信業	6.6	48.2	69.8	65.9	27.9	83.7	86.6	75.2
運輸業・郵便業	▲11.4	▲7.6	2.9	▲3.5	▲7.1	▲10.7	▲10.1	▲11.0
卸売業・小売業	11.5	19.0	28.0	19.0	26.8	▲7.1	▲10.9	9.2
医療・福祉	11.5	8.4	▲1.5	▲5.3	▲8.0	▲26.2	1.6	▲15.9
その他のサービス業	▲4.7	60.6	46.0	29.1	43.4	15.1	20.0	8.0
調査産業計	▲1.3	▲9.6	▲8.8	▲10.2	▲11.1	▲6.2	▲9.9	▲5.5

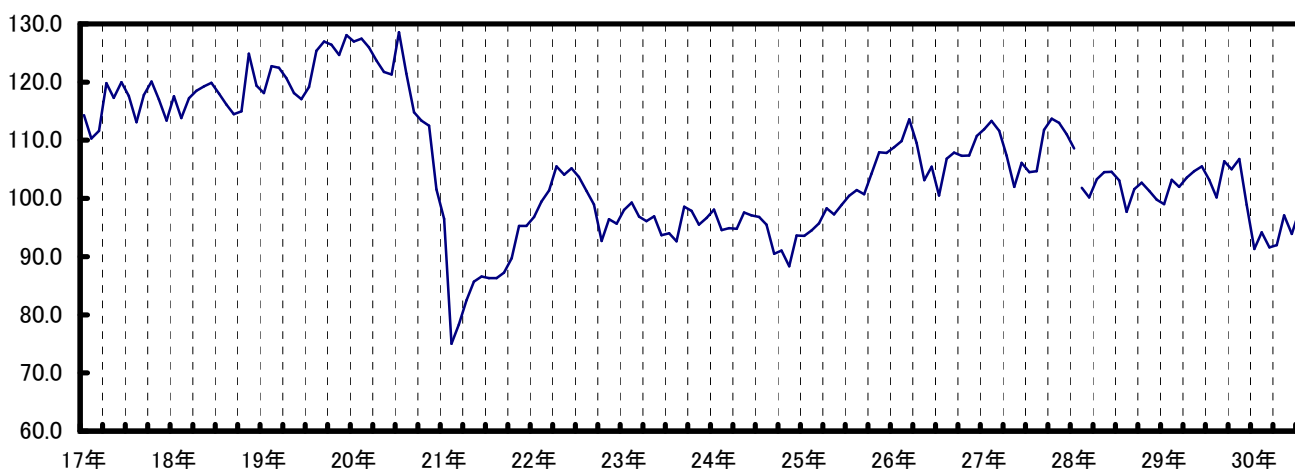
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

(平成27年=100)

9 月 = 102.0

*前 月 比: 0.3%上昇

*前年同月比: 3.0%上昇

<概 況>

9月の国内企業物価指数は102.0となり、前月比は0.3%の上昇となった。また、前年同月比は3.0%の上昇となった。

<最近の動き>

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
国内企業物価指数	100.3	100.2	100.5	101.0	101.3	101.7	101.7	102.0
前 月 比 (%)	0.0	▲ 0.1	0.3	0.5	0.3	0.4	0.0	0.3
前年同月比 (%)	2.5	2.0	2.0	2.6	2.8	3.0	3.0	3.0

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

8 月 = 138,099億円

*前 月 比: 0.2%減

*前年同月比: 0.8%減

<概 況>

8月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は138,099億円と、前月比は0.2%の減少となった。また、前年同月比は0.8%の減少となった。

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
貸出残高(億円)	139,613	139,486	140,606	139,122	138,727	139,354	138,340	138,099
前 月 比 (%)	▲ 1.4	▲ 0.1	0.8	▲ 1.1	▲ 0.3	0.5	▲ 0.7	▲ 0.2
前年同月比 (%)	1.3	1.2	0.6	0.4	0.2	0.1	▲ 0.7	▲ 0.8

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

8 月 = 1.999%

*前 月 差: 0.019ポイント減

*前年同月差: 0.123ポイント減

<概 況>

8月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.999%で、前月から0.019ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.123ポイントのマイナスとなった。

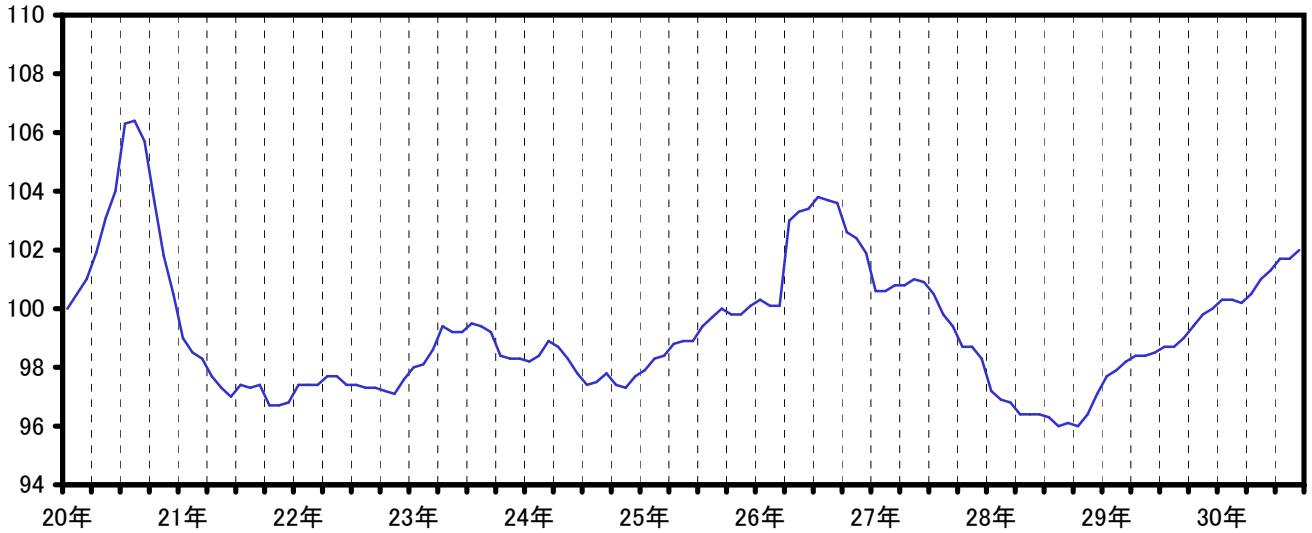
	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
貸出約定金利(%)	2.106	2.100	2.072	2.070	2.048	2.022	2.018	1.999
前月差(ポイント)	0.008	▲ 0.006	▲ 0.028	▲ 0.002	▲ 0.022	▲ 0.026	▲ 0.004	▲ 0.019
前年同月差(ポイント)	▲ 0.028	▲ 0.038	▲ 0.056	▲ 0.063	▲ 0.083	▲ 0.101	▲ 0.102	▲ 0.123

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

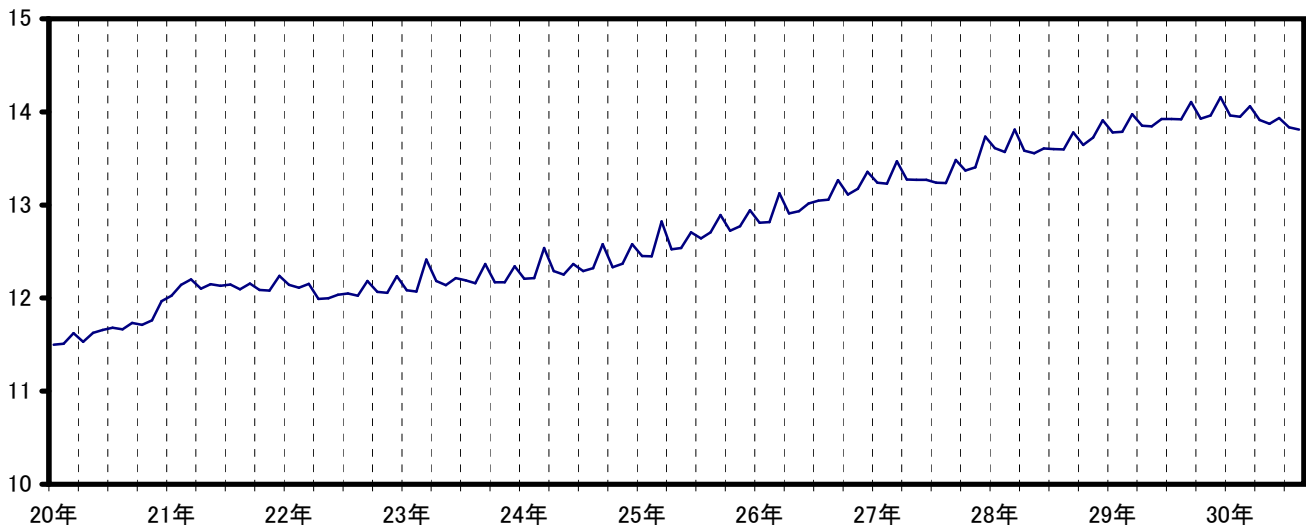
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



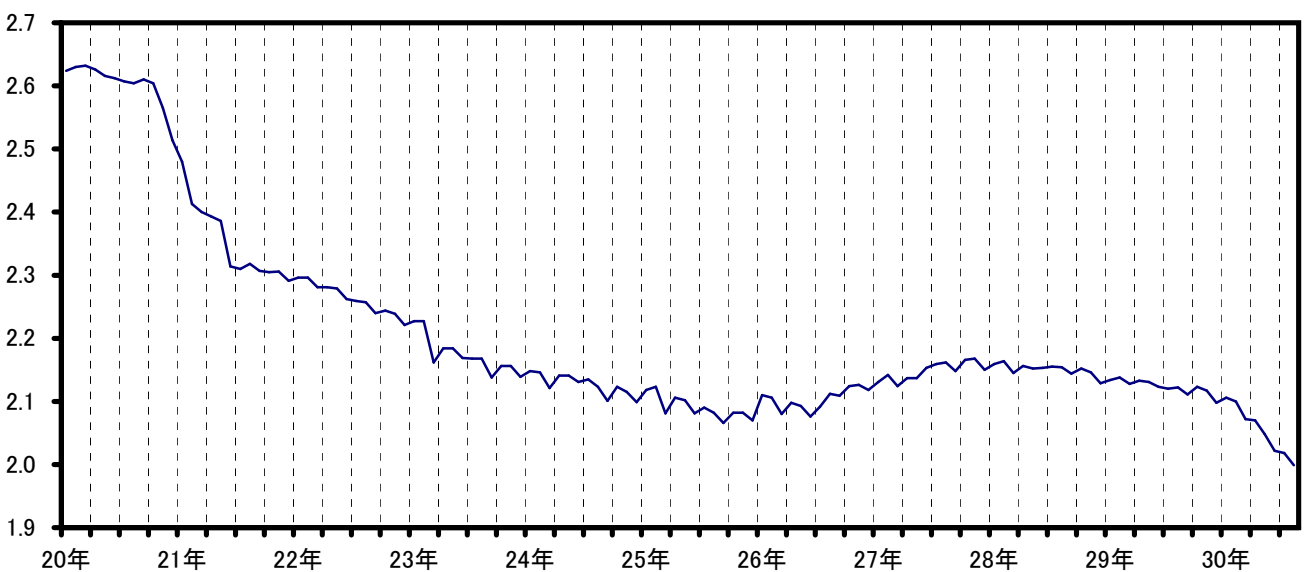
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**8 月 = 19,715百万円**

*前年同月比： 8.7%増

<概況>

8月の保証承諾は、金額は19,715百万円（前年同月比 8.7%増）、件数は1,989件（同 2.9%増）と、いずれも2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
保証金額(百万円)	13,633	17,320	24,143	12,080	17,993	18,336	19,024	19,715
前年同月比(%)	▲ 3.0	▲ 4.7	▲ 7.3	3.3	27.2	▲ 4.9	9.3	8.7
保証件数(件)	1,486	1,824	2,314	1,421	1,786	1,958	1,920	1,989
前年同月比(%)	▲ 1.2	0.3	▲ 4.1	3.0	11.1	▲ 1.4	10.5	2.9

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**9 月 = 111.89円/ドル**

*前月差： 0.83円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 1.21円安

<概況>

9月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は111.89円で、前月と比べて0.83円の円安となり、2か月ぶりの円安となった。

<最近の動き>

	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
平均相場(円)	107.82	106.00	107.43	109.69	110.03	111.37	111.06	111.89
前月差(円)	▲ 2.95	▲ 1.82	1.43	2.26	0.34	1.34	▲ 0.31	0.83
前年同月差(円)	▲ 5.24	▲ 7.01	▲ 2.63	▲ 2.52	▲ 0.88	▲ 1.07	1.15	1.21

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****9 月 = 10件**

*前年同月比： 56.5%減

<概況>

9月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は10件（前年同月比 56.5%減）、負債総額は662百万円（同 57.5%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が9件と全体の90.0%を占め、250か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

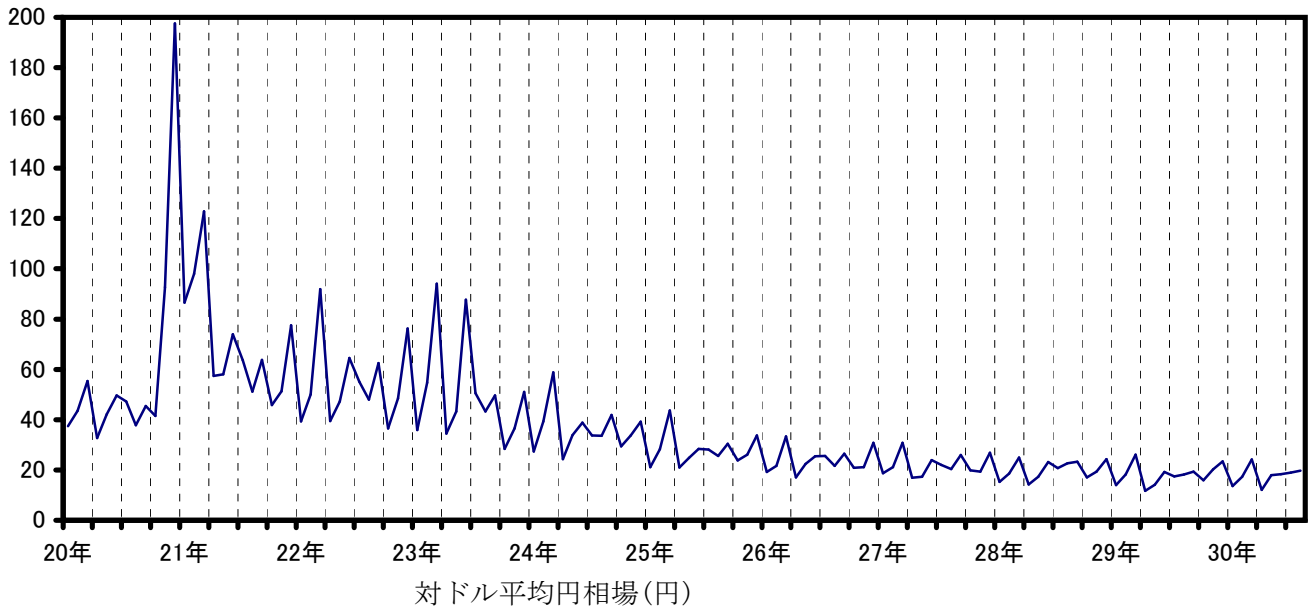
	30年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
倒産件数(件)	22	26	12	24	27	16	22	10
前年同月比(%)	22.2	▲ 16.1	▲ 47.8	33.3	17.3	▲ 40.7	4.7	▲ 56.5
うち不況型倒産件数(件)	20	25	10	23	22	15	20	9
負債総額(百万円)	2,688	3,065	2,113	3,066	5,345	2,099	2,327	662
前年同月比(%)	▲ 65.4	▲ 57.7	▲ 68.0	31.1	81.8	▲ 33.5	38.5	▲ 57.5

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

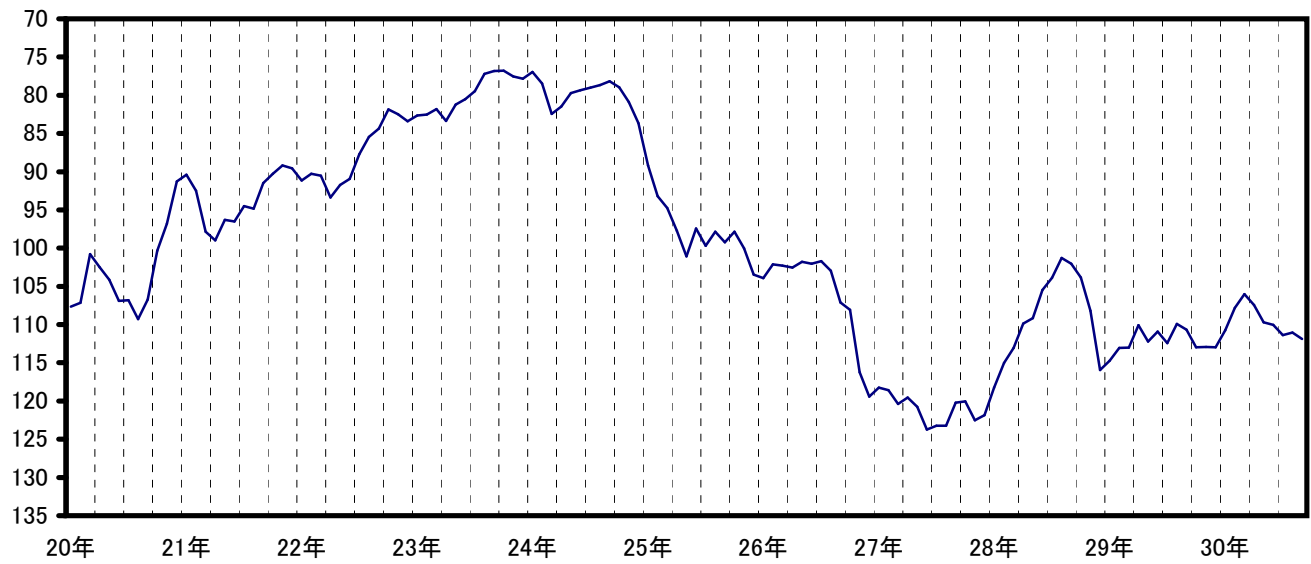
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

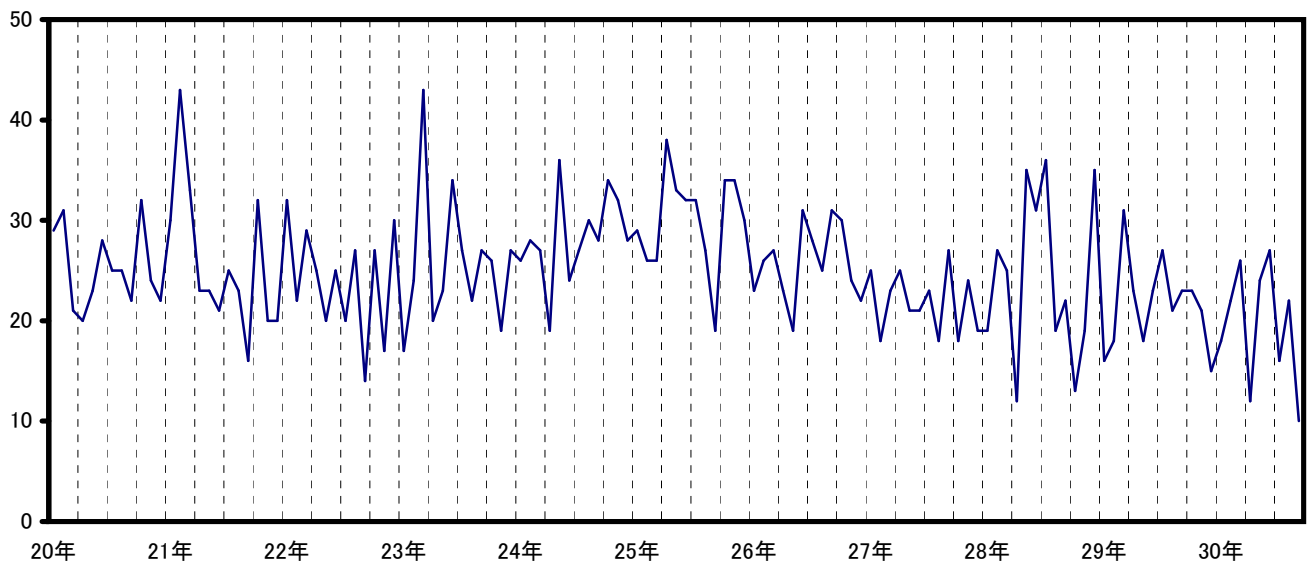


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成30年8月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>7月の国内二輪車生産台数は、52,422台（前年同月比 10.7%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、14,329台（同 6.0%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、5,869台（同 118.5%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、5,843台（同 14.7%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、26,381台（同 8.6%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、32,071台（同 0.9%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、33,079台（同 12.8%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>7月の自動車国内生産台数は、801,778台（前年同月比 2.0%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。なお、輸出は380,307台（同 7.4%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、トラックが6か月連続で前年実績を上回ったものの、乗用車が2か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>8月の冷蔵庫の国内出荷額は449億円（前年同月比 9.9%増）と、4か月連続で前年実績を上回り、国内出荷台数は395千台（同 2.7%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>8月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは818千台（同 14.5%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。業務用は81千台（同 8.8%増）と、17か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>7月の携帯電話の国内出荷台数は、1,121千台（同 32.6%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、743千台（同 37.9%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は 66.3%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>8月の工作機械の受注総額は、1,403億9,100万円（前年同月比 5.1%増）と、21か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は780億1,900万円（同 4.6%減）と、21か月ぶりに前年実績を下回った。アジア向けが339億5,800万円（同 20.9%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。内需は623億7,200万円（同 20.5%増）と、19か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業からは、「現状の生産活動は順調であるが、米中の貿易摩擦への懸念から、投資に様子見の動きがあり、受注がやや弱含んでいる」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>8月の県内楽器メーカーの販売金額は、44億9,878万円（前年同月比 1.6%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は輸出向けが25億7,036万円（同 3.9%減）、国内向けが19億2,842万円（同 9.9%増）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,635台（同 4.4%増）だった。機種別では、アップライトピアノが1,727台（同 0.8%増）、グランドピアノが908台（同 11.8%増）だった。また、販売台数は、輸出向けが2,272台（同 2.6%増）、国内向けが903台（同 25.2%増）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>8月の紙・板紙の国内出荷高は、1,964千ト（前年同月比 1.0%減）と、13か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は1,036千ト（同 3.6%減）と、15か月連続で前年実績を下回った。板紙は928千ト（同 2.2%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、562千ト（同 4.1%減）と、15か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、148千ト（同 0.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>8月の県内生産量は、食缶類が国内向け966千箱（前年同月比 0.9%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は695千箱（同 6.8%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は543千箱（同 10.3%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は271千箱（同 16.4%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,407千箱（同 3.2%減）と、12か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>8月の広幅織物の県内生産は、1,149千㎡（前年同月比 3.5%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,077千㎡（同 2.0%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、72千㎡（同 33.3%増）と、11か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、24千㎡（同 4.3%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>8月の全国百貨店での家具販売額は、48億6,426万円（前年同月比 6.8%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、558億3,946万円（同 0.4%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>8月の県内百貨店・スーパーの販売額は、33,855百万円と前年実績からほぼ横ばいだった。品目別に見ると、「飲食料品」の販売額は前年実績を上回ったものの、「衣料品」、「身の回り品」、「家庭用品」、「その他の商品」、「食堂・喫茶」は前年実績を下回った。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りでは、猛暑により来客数は前年に比べ減っていたが、青果の相場が高いことや新店舗がオープンしたことなどの影響で売上は増加していた。また、東部の専門店への聞き取りでは、映画でヒット作が多かったことや地域でイベントが開催されたこと等により来客が増え、売上も増加していた。西部の百貨店への聞き取りでは、美術品や宝飾品の外商が好調だったことから売上が増加していた。衣料品についても、好景気であることを背景に売上が増加しており、特に紳士服の売上が好調だった。</p> <p>富士市では、JR富士駅周辺で長年開催されている「まちなかゼミ」を市内全域に拡大する初の試みとして、約1か月間、商店主がプロの裏技や暮らしに役立つ豆知識を伝授する「ふじのまち得ゼミナール」が開催された。平成17年度に開始された「まちなかゼミ」では、各個店の知名度向上や来客数の増加等の効果がみられている。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>8月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約53万人と、前年同月比 5.7%減だった。</p> <p>7月に引き続き、記録的な猛暑の影響を受けて、多くの施設で来場者数が減少した。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は約89万台と、前年同月に比べて0.8%増だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
完成車生産台数(台)	13,704	13,173	20,900	19,397	16,231	14,242	15,413	12,784	10,823
前年同月比(%)	▲ 30.9	▲ 31.3	▲ 5.3	▲ 30.2	▲ 25.2	▲ 26.9	▲ 10.9	▲ 14.7	▲ 32.8
KD輸出額(百万円)	531	539	650	515	752	574	570	589	624
前年同月比(%)	▲ 25.8	▲ 24.3	▲ 7.8	▲ 20.9	10.6	▲ 9.7	▲ 20.1	▲ 23.7	8.5

<楽器>

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
生産総額(百万円)	3,298	2,534	2,905	3,072	3,111	2,565	3,178	3,187	2,767
前年同月比(%)	0.1	▲ 17.8	▲ 13.8	▲ 17.5	▲ 8.6	▲ 27.8	▲ 14.8	▲ 5.0	▲ 5.7

<缶詰>

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
食缶生産高(千ケース)	894	806	878	1,007	946	960	963	996	966
前年同月比(%)	9.6	▲ 2.4	1.4	1.1	▲ 2.0	8.1	▲ 3.6	3.1	▲ 0.9
うち水産缶詰(%)	7.7	▲ 4.2	▲ 0.5	▲ 5.2	▲ 5.8	0.1	▲ 5.0	5.7	6.8
農畜産缶詰(%)	14.3	2.0	5.5	15.7	7.1	31.1	▲ 0.3	▲ 2.8	▲ 16.4
飲料缶生産高(千ケース)	5,513	4,694	5,196	6,952	6,871	8,024	7,394	7,139	7,407
前年同月比(%)	▲ 7.9	▲ 4.9	▲ 9.8	▲ 4.2	▲ 15.7	▲ 4.4	▲ 7.2	▲ 14.8	▲ 3.2

<繊維>

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
広幅織物(千㎡)	1,589	1,515	1,333	1,332	1,274	1,176	1,177	1,137	1,149
前年同月比(%)	▲ 6.2	▲ 3.1	▲ 3.3	0.8	▲ 4.8	0.5	3.5	1.5	3.5
小幅織物(千㎡)	33	32	35	34	31	30	28	27	24
前年同月比(%)	▲ 1.1	▲ 3.8	▲ 0.5	1.4	▲ 6.7	▲ 7.6	▲ 4.6	▲ 0.1	▲ 4.3

<観光>

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
観光施設(10施設)入込 (千人)	251	287	263	512	515	536	302	287	531
前年同月比(%)	▲ 10.2	▲ 0.2	▲ 1.7	5.9	1.5	▲ 15.9	▲ 17.5	▲ 14.2	▲ 5.7
有料道路(5路線)通行量 (千台)	725	639	625	783	699	719	656	752	890
前年同月比(%)	▲ 2.2	▲ 5.7	▲ 9.2	0.7	▲ 0.1	▲ 5.2	▲ 2.1	▲ 2.9	0.8

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成30年10月号 通巻510号

発行 静岡県経済産業部
平成30年10月

編集 経済産業部産業革新局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>